

# 『営農アンケート』集計結果の説明

～東川（山川、末延・末清、正延・別役）地区集計～

1

令和3年2月15日  
香南市農林水産課

# 『営農アンケート』集計結果の説明目的

- 営農アンケートの結果を地区会合の参加者間で共有し、**地区での共通課題を参加者で確認**する。
  - 農地所有者や農業者の年齢構成を知り、後継者の有・無を含め、今後の地区の農業継続性の現状を理解する。
  - 農業者や農地所有者の農地の現状認識を確認する。
  - 持続可能な農業に向けての考え方の傾向を共有する。
- アンケートの内容をできるだけ可視化し、地区の会合で**活発な議論を呼ぶ材料**とする。
  - 自由記述意見をコメントとして記述し、できるだけ生の声を再現する。

## 注) 営農アンケートの利用について

- ① アンケートでご回答いただきました内容は、『人・農地プラン』事業関係の事項に利用させていただき、他の目的では使用しません。
- ② 地区の会合等でアンケートの集計結果のまとめを説明する際に、お名前などを含めてプライベートな事項は出ないように処理したうえで、コメントを利用させていただきます。

地区の皆さま、ご了承をお願いいたします。

## 『営農アンケート』の概要

- 目的：人農地プランの策定に向けて、農地所有者、後継者、耕作者の現状、今後の営農の意向を把握する。
- 対象：香南市にある農地の所有者、後継者、耕作者
- 方法：郵送でのアンケートへの回答、または農業委員・推進委員による戸別訪問での聞き取り
- 使用データ：農家台帳（令和元年12月16日時点）
- 件数：宛先不明等を除いた実質 5,864件 （総数 7,302件）
- 実施：令和元年12月～令和2年7月
- 回収終了：令和2年9月23日
- 回収件数：3,330件 （56.8%）
- 面積：1520ha （64.4%）

# 東川地区の営農アンケート回収状況

5

(注) 農業委員・農地利用最適化推進委員による個別訪問調査も含む

- 209通送付し返信数は113通であり、返信率54.1%となった。
- 返信者の農地所有面積集計では、地区全体の62.4%となった。

表1) 地区別返信率 (人数)

No.	地域	実質数	返信数	返信率
1	佐古	303	185	61.1%
2	西野・大谷・深淵	560	319	57.0%
3	下井・上岡	314	208	66.2%
4	東野	433	216	49.9%
5	富家	285	156	54.7%
6	香宗	235	143	60.9%
7	吉原	290	146	50.3%
8	古川	200	130	65.0%
9	赤岡	174	118	67.8%
10	徳王子・岸本	592	344	58.1%
11	山南	484	266	55.0%
12	山北	380	203	53.4%
13	西川	247	140	56.7%
14	東川	209	113	54.1%
15	舞川・撫川・奥西川	103	57	55.3%
16	西山・坪井	397	231	58.2%
17	十ノ木・上夜須	181	95	52.5%
18	夜須川・細川・国光	207	124	59.9%
19	羽尾	36	26	72.2%
20	手結山	234	110	47.0%
	合計	5,864	3,330	56.8%

表2) 地区別返信率 (面積)

No.	地域	現況面積(m <sup>2</sup> )	返信(m <sup>2</sup> )	返信面積比率
1	佐古	1,297,261	744,122	57.4%
2	西野・大谷・深淵	2,360,164	1,572,798	66.6%
3	下井・上岡	1,314,818	908,980	69.1%
4	東野	1,825,753	1,048,214	57.4%
5	富家	925,220	618,222	66.8%
6	香宗	739,417	455,440	61.6%
7	吉原	809,809	424,597	52.4%
8	古川	437,288	260,175	59.5%
9	赤岡	580,401	450,114	77.6%
10	徳王子・岸本	3,020,829	2,228,900	73.8%
11	山南	2,365,532	1,459,258	61.7%
12	山北	1,749,997	1,196,689	68.4%
13	西川	1,107,364	738,328	66.7%
14	東川	777,707	485,386	62.4%
15	舞川・撫川・奥西川	277,516	143,200	51.6%
16	西山・坪井	1,600,275	1,044,408	65.3%
17	十ノ木・上夜須	801,984	453,988	56.6%
18	夜須川・細川・国光	695,643	402,999	57.9%
19	羽尾	134,915	73,671	54.6%
20	手結山	781,247	491,765	62.9%
	合計	23,603,141	15,201,256	64.4%

## 山川、未延・未清、正延・別役の回答状況

- 回答いただいた方の所有の面積集計は各集落で過半数を超えました。

表3) 集落別返信率 (人数)

No.	集落	対象数	発送不能 宛先不明	実質数	返信数	実質返信率
14-1	山川	95	23	72	40	55.6%
14-2	未延・未清	80	30	50	24	48.0%
14-3	正延・別役	120	33	87	49	56.3%

表4) 集落別返信率 (面積)

No.	集落	現況面積(m <sup>2</sup> )	返信(m <sup>2</sup> )	返信面積率
14-1	山川	273,686	206,055	75.3%
14-2	未延・未清	190,289	95,597	50.2%
14-3	正延・別役	313,732	183,734	58.6%

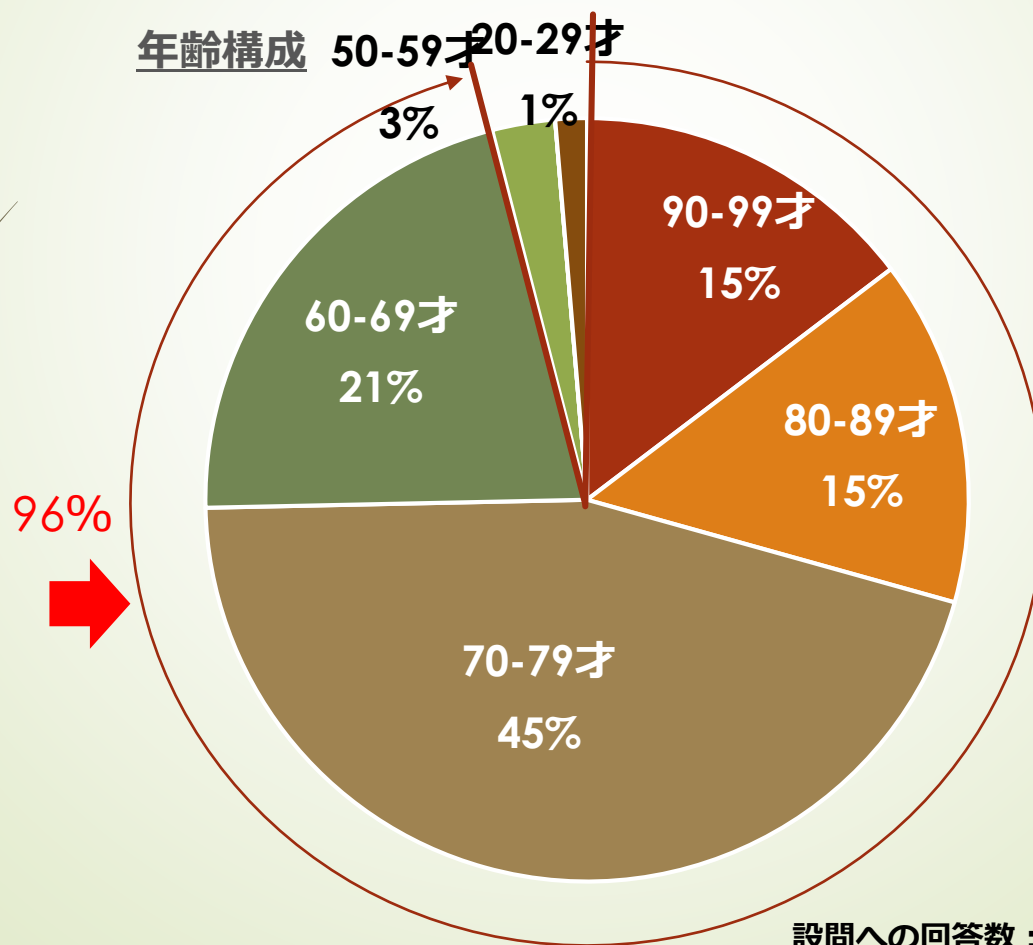
・・・アンケートへご協力いただきましたこと、改めて感謝いたします。

# アンケート集計 (1)

7

## アンケート回答者（農地所有者、農業者）の年齢構成

- 回答者（農地の所有者、農業者）の96%は60歳以上の状況である。



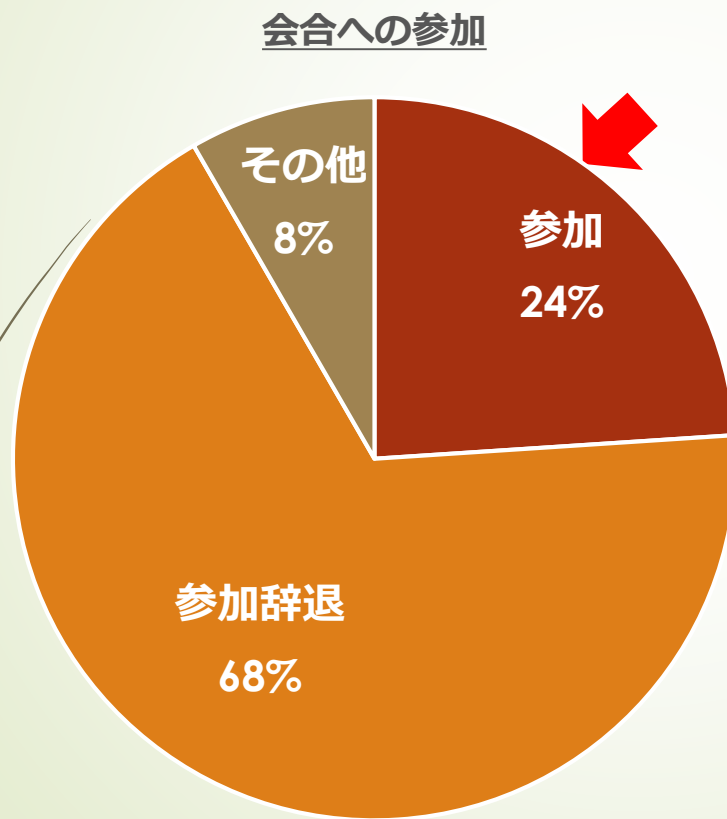
## アンケート集計 (2)

### 地域会合への参画意向

8

#### 話し合いへの参加希望 (取組に対する意見等)

- 回答者の24%は地区会合に参加を希望されている。
- 参加辞退者も、地区会合の内容は知りたいとの意向を持っている。



コメント：

- ・地元の人たちの意見を優先した政策を希望します。

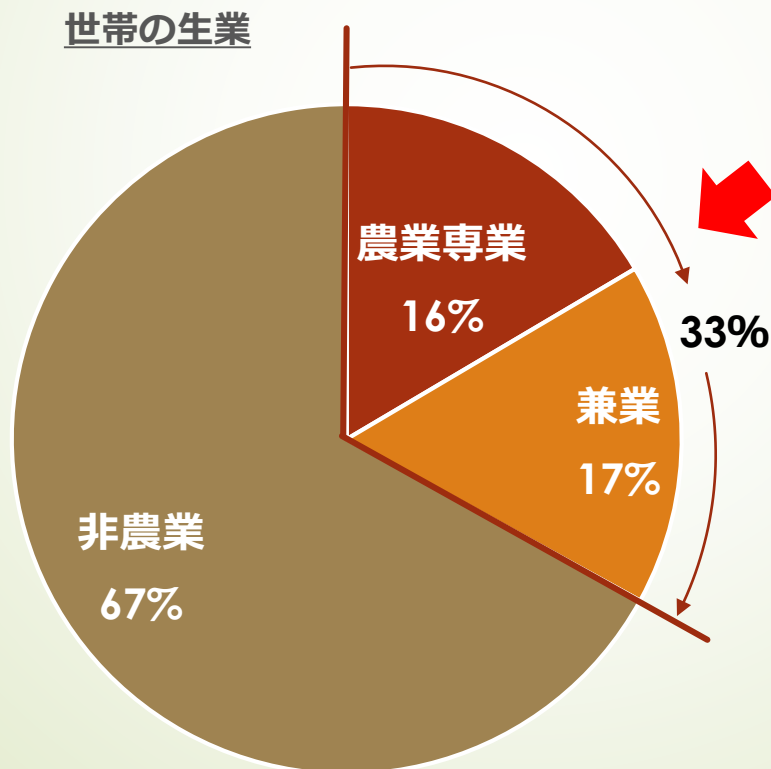
設問への回答者数：96



9

Q1. あなたの世帯は、どのような世帯ですか？

- 専業、兼業合わせても農業を営む割合は33%に留まる。
- 農業を営んでいない人は67%であった。（離農し他の職業へ、相続、高齢、施設入所、県外など遠方に転出：土地持ち非農家）

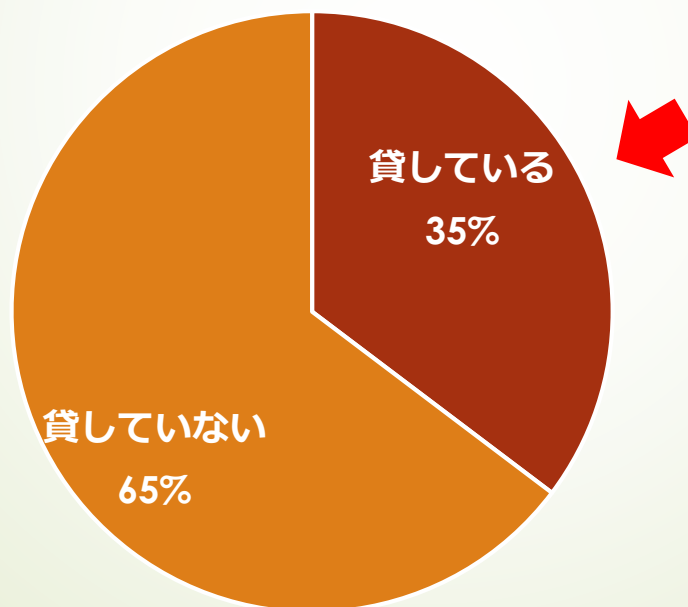


設問への回答数：103

Q2. 現在、人に農地を貸していますか？

- 農地所有者の35%は農地を貸している。

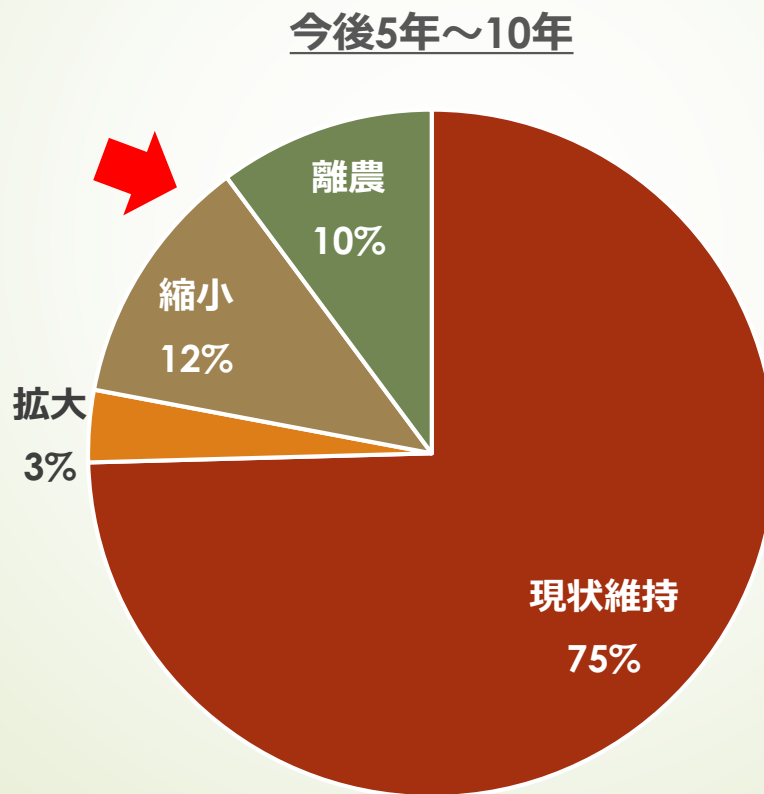
農地の現状



設問への回答者数：102

Q3. 5～10年後を考え、あなたはどのようにしていきたいですか？

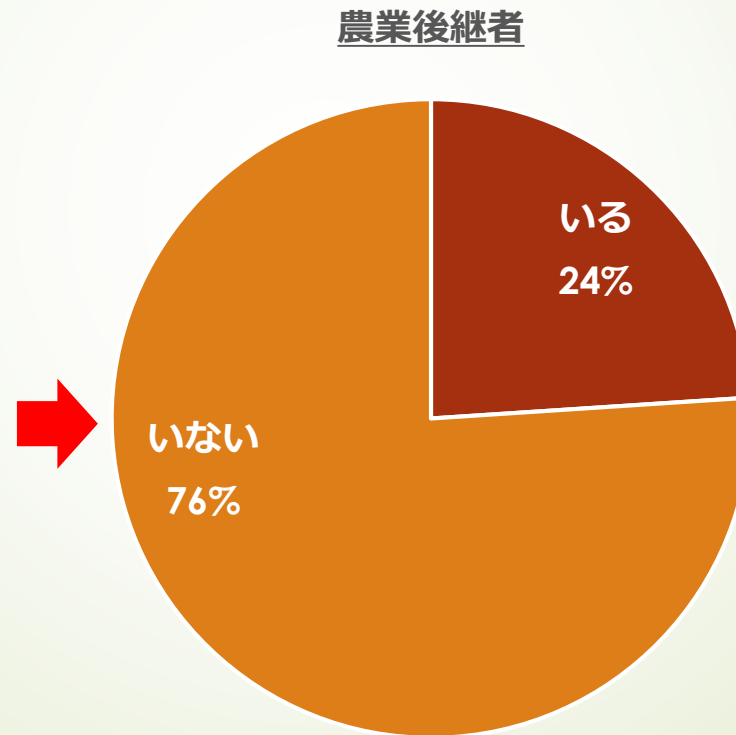
- 今後も現状維持するとの意向が75%あった。
- 一方、農業を辞める或いは規模縮小する、との回答も併せて22%あった。



コメント：  
・現時点で大部過疎化が進んで、先行きには年も含めて希望は持てないです。

### Q4. 後継者（農業後継者）はいますか？

- 農業後継者のいない割合が76%あった。
- 跡継ぎは居ても農業を継がないあるいは継ぐかどうかは不明であるケースがある。



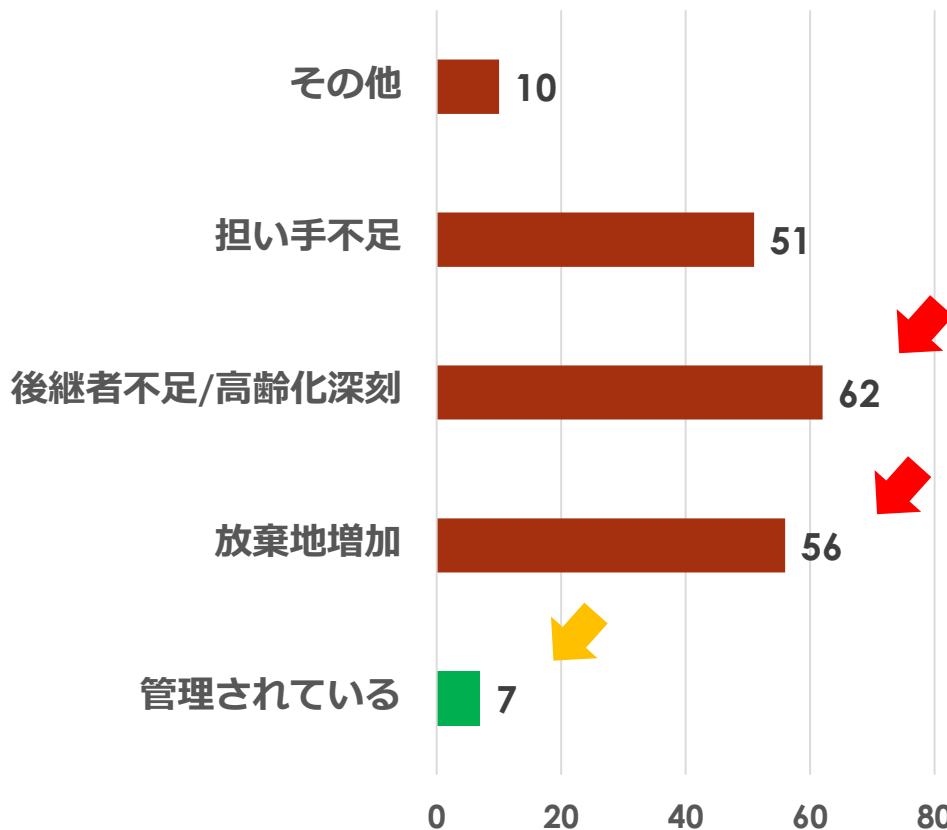
設問への回答者数：96

13

Q5. あなたの地域の農地や農業者の状況は、いまどのようになっていますか？

- 後継者不足や放棄地の増加しているとの認識が多い。
- 管理されているとの認識は少ない。

地域の農業者/農地の状況



設問への回答数：186

コメント：

- ・大阪に在住で、わからない。
- ・住んでいないので、よくわかりません。
- ・ほとんど（農業者は）居ない。
- ・高齢になりまして、今は畑も耕作してなくて、もう山になっていまして、これからは作ることはありません。
- ・（農地を売ることを）子供と決めました。誰も農業を継ぐ人が居ません。
- ・使いやすい田畑を近所の人に耕作してもらっています。相続の後は何もしておりません。
- ・地元地区に、農業の担い手が居ない。
- ・雑草繁る夏時期は刈込をしていただければありがたいですが、現在は年2回シルバーさんに頼んで処理しています。

# アンケート集計 (8)

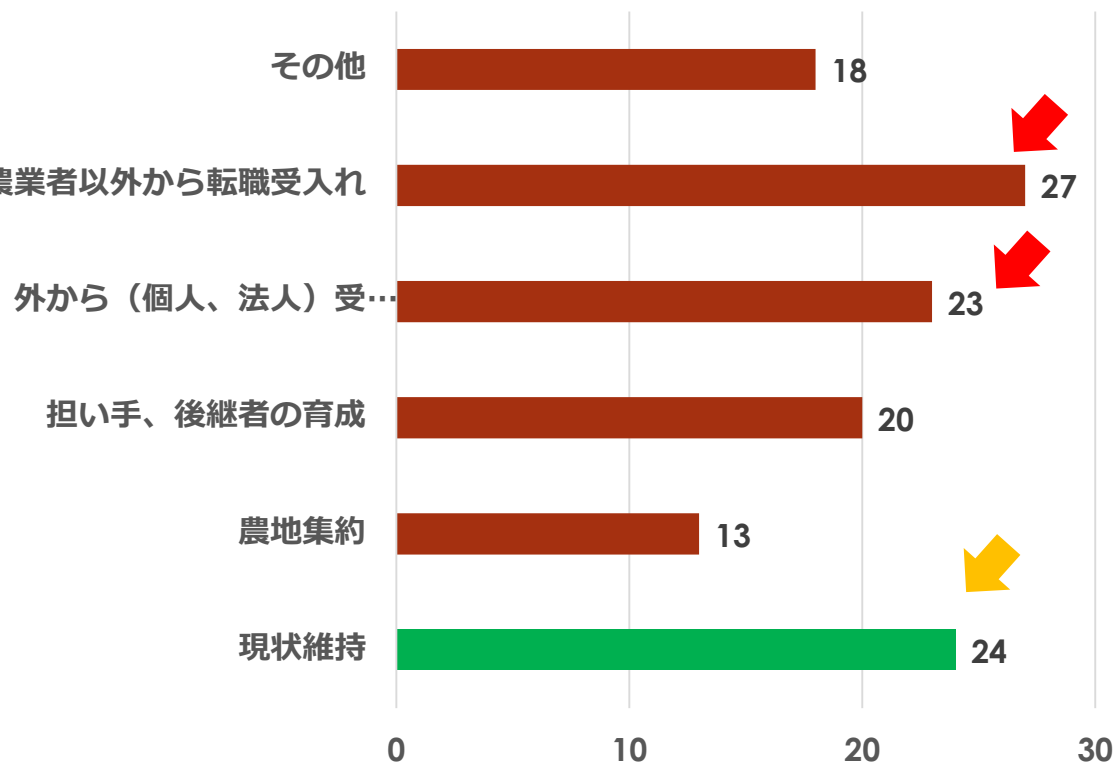
持続可能な農業のために

14

Q6. あなたの地域の農業が5~10年後も持続可能なものとするために、どうしたらよいと思いますか？

- 現状維持を考えているとの声もあるが、農業者以外や地域外から受け入れるといった意見が多い。

## 持続可能な農業



設問への回答数 : 125

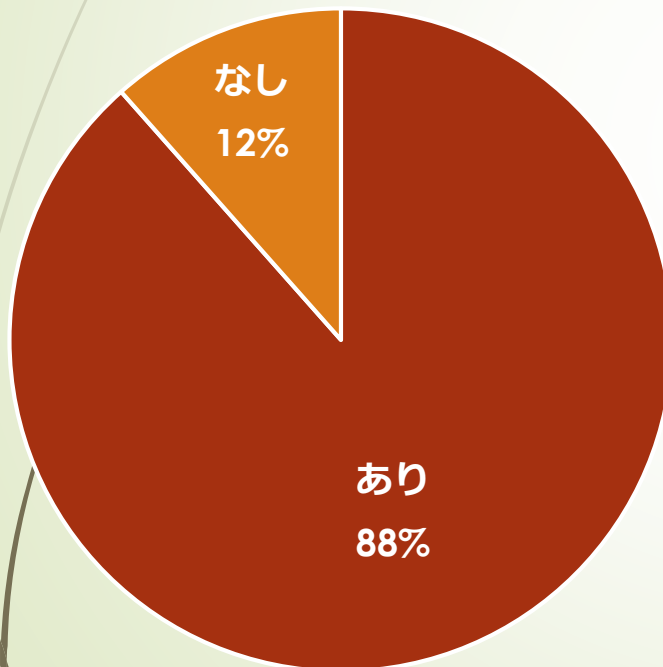
コメント :

- ・わからない。
- ・現状がわからないので、回答出来ない。
- ・住んでいないので、よくわかりません。
- ・収入見込みや税金下げが先。すでに不能。
- ・農業の維持はむづかしい。
- ・あきらめています。
- ・後継者もなく、高齢者ばかり。地域的にも無理。
- ・山間地は地理的に(農業経営は)困難。
- ・住民の固定化が必要。あと5年後はこの地域に人は居なくなる。
- ・中山間地域に力を入れる。
- ・農業公社、市役所が就農者の紹介をする。
- ・大手企業に土地や山を貸して、観光地として発展できればと思います。名古屋に香嵐渓という紅葉の名所があります。土佐香嵐峡とか土佐香南峡になればと、夢を描いています。
- ・大手企業に貸して観光地兼農作物をお土産に売って、高知県民の生計を維持するようになればよいと思います。

Q7. あなたの農地で、売ったり貸したりしてもよい農地やハウスがあれば教えてください。

- 貸し希望の背景は、農業者が体力的に続けられない状況がある。
- 売却希望の背景には、後継者の不在等の状況がある。

売り貸し候補地



### コメント

#### 【貸したい】

- ・高齡化で維持管理できない。
- ・高齡化。
- ・維持管理できない。

#### 【売りたい貸したい】

- ・市が施行した圃場整備が設計、完成が悪い為、耕作ができなくなっている。市の責任において耕作可能な土地にしてほしい！！

#### 【売りたい】

- ・後継者が居ないため。
- ・終活のため
- ・値がすればだが？

# ■ アンケートからの農地の売却・賃貸希望の背景概要

16

## 農業者側の事情

- 高齢化、体力・気力低下
- 所有者/借地者の病気
- 県外など遠方に在住
- 農機具を所有していない
- 他の仕事に専念
- 後継者不在/跡継ぎまで年数要
- 耕作者である借地人も高齢/後継者が居ない

農地を農地として管理できない。

## 耕作条件

- 小さい農地区画、日当たり、坂道
- インフラ（農道/水路）不備、
- 病害（生姜）/使用形態（養殖）

農地としての適性が低い。

## 農業の採算性

- 米づくりでは赤字、山間部の農業経営

農業（稲作）を続けられない。

## 資産活用

- 生活費の捻出、終活
- 事業の資金の調達
- 貸地としても経費（公租公課、水利）要

農業以外で資金需要がある。

賃貸

売却